

令和 7 年度 事後評価点検表(内部評価)

1 事業概要

事業名	主要地方道大阪中央環状線鳥飼大橋（北行）架替事業											
担当部署	都市整備部道路室道路整備課建設グループ（連絡先 06－6944－9276）											
事業箇所	守口市大庭町～摂津市鳥飼和道											
事業目的及び事業内容	<p>【事業目的】</p> <p>府道大阪中央環状線の淀川に架かる鳥飼大橋（北行）は、完成後ほぼ半世紀が過ぎ、近年の交通量増加や車両大型化等により老朽化が進行している。十分な耐震性を有しておらず、慢性的な交通渋滞が生じているなどの緊急課題も抱えている。</p> <p>本事業では、抜本的対策として車線拡幅を含む旧橋の架替えを行い、耐震性の確保及び慢性的な交通渋滞の解消を図るものである。</p> <p>【事業内容】</p> <p>事業延長：950m</p> <p>橋梁架替</p> <p>延長：554m</p> <p>幅員：16.25m</p> <p>車道：3 車線〔3.25m×3〕</p> <p>自転車歩行者道：片側〔4.5m〕</p>											
関連事業とその現状	—											
社会経済情勢の変化	<p>【本路線の状況】</p> <ul style="list-style-type: none">平成 22 年 2 月 新橋の供用開始(車道 3 車線)令和 2 年 5 月 拡幅部完成令和 3 年 2 月 完成（歩道・護岸含む） <p>【周辺交通の状況】</p> <table><tr><th>路線名</th><th>供用前 (H27 道路交通センサス)</th><th>供用後 (R3 道路交通センサス)</th><th>増減 (－)</th></tr><tr><td>府道大阪中央環状線</td><td>87,131 台/24 h</td><td>87,526 台/24 h</td><td>395 台/24 h</td></tr></table>				路線名	供用前 (H27 道路交通センサス)	供用後 (R3 道路交通センサス)	増減 (－)	府道大阪中央環状線	87,131 台/24 h	87,526 台/24 h	395 台/24 h
路線名	供用前 (H27 道路交通センサス)	供用後 (R3 道路交通センサス)	増減 (－)									
府道大阪中央環状線	87,131 台/24 h	87,526 台/24 h	395 台/24 h									
事業実施による自然環境の変化	・特筆すべき自然環境への影響はない。											
最終評価時の意見具申(付帯意見)と府の対応	—											

2 事業効果の分析等

	最終評価時点 H27	事後評価時点 R7	変動要因の分析
事業費	約 1 0 6 億円 〔国：58.3 億円、府：47.7 億円〕	約 1 0 5 億円 〔国：57.8 億円、府：47.2 億円〕	・事業費(工事費)精査による減
経過 ①事業期間 ②採択年度 ③着工年度 ④完成年度	①19 年 ②平成 13 年度 ③平成 14 年度 ④平成 31 年度	①20 年 ②平成 13 年度 ③平成 14 年度 ④令和 2 年度	・淀川の護岸復旧にかかる関係機関協議に時間を要したため。
定量的効果 (費用便益分析等)	<p>【効果項目】</p> <ul style="list-style-type: none">・走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少 <p>【分析結果】</p> <ul style="list-style-type: none">・ B/C=1.87B=229.0 億円C=122.6 億円 <p>【算出方法】</p> <ul style="list-style-type: none">・国土交通省「費用便益分析マニュアル（平成 20 年 11 月）」により算出 <p>【受益者】</p> <ul style="list-style-type: none">・道路利用者	<p>【効果項目】</p> <ul style="list-style-type: none">・走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少 <p>【分析結果】</p> <ul style="list-style-type: none">・ B/C=2.27B=443.1 億円C=195.0 億円 <p>【算出方法】</p> <ul style="list-style-type: none">・国土交通省「費用便益分析マニュアル（令和 7 年 8 月）」により算出 <p>【受益者】</p> <ul style="list-style-type: none">・道路利用者	・費用便益分析マニュアルの改訂及び評価基準年、完了年度の変更による。
事業効果の定性的分析 (安全・安心、活力、快適性等の有効性)	<p>【安全・安心】</p> <ul style="list-style-type: none">・歩車道分離による歩行者、自転車の安全確保 <p>【活力】</p> <ul style="list-style-type: none">・物流効率化の支援・地域間交流連携の強化 <p>【快適性】</p> <ul style="list-style-type: none">・十分な幅員が確保された歩道による快適性の向上	<p>【安全・安心】</p> <ul style="list-style-type: none">・歩車道分離による歩行者、自転車の安全確保 <p>【活力】</p> <ul style="list-style-type: none">・物流効率化の支援・地域間交流連携の強化 <p>【快適性】</p> <ul style="list-style-type: none">・十分な幅員が確保された歩道による快適性の向上	・初期の目的を達している。
その他特記事項	—		

3 評価結果と今後の同種事業に対する改善措置等

評価結果 (事業効果の発現状況等)	・ 本事業により耐震性の確保及び交通渋滞の緩和が図られた。
今後の同種事業に対する改善措置等	—

令和7年度 事後評価 主要地方道 大阪中央環状線鳥飼大橋(北行) 架替事業

